

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス よよぎ松山校			
○保護者評価実施期間	R7年10月30日			～ R7年11月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数)	3名
○従業者評価実施期間	R7年10月30日			～ R7年11月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数)	4名
○訪問先施設評価実施期間	R7年10月30日			～ R7年11月30日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	3	(回答数)	3
○事業者向け自己評価表作成日	R7年12月1日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者や学校、他の事業所とこまめに連絡を取り、情報共有や相談を積極的に行っている	必要に応じて会議等行い、子どもの様子や支援内容に関する情報共有を行っている。 訪問先の理念や支援方針を尊重し、児童・保護者・学校の状況に応じた柔軟な対応を心がけている。	支援後の記録や振り返りを学校・保護者とも共有している。 今後の対応等整理して、次回の支援に繋げている。
2	保育所等訪問支援に関する研修に参加している	支援員間で定期的に情報共有を行ったり保育所等訪問支援に関する研修に参加するよう努めている。学んだ内容を支援の質や方針の統一に取り入れている。	訪問先や家庭での状況に応じて支援方法を工夫し、より良い環境で支援できるように支援体制を整える。
3	同一法人内の放課後等デイサービスと連携している	訪問支援と通所支援の情報が連携しやすいことで、児童の状態を多面的に把握でき、継続性のある支援につなげられている。	放課後等デイサービスとの連携をさらに強化し、児童の様子や家庭での状況をより細かく共有できる仕組みを整えていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	訪問先によって連携や情報共有の頻度に差が出ることがある	支援後に学校の担任と十分な時間を確保できないことがあります、児童の状況や支援内容に関する情報共有が十分に行えないこともある。	支援後に担任と十分に話す時間を確保できるよう、事前にスケジュール調整や短時間でも情報共有できる手段（メモ・オンライン報告など）を検討していく。
2			
3			